

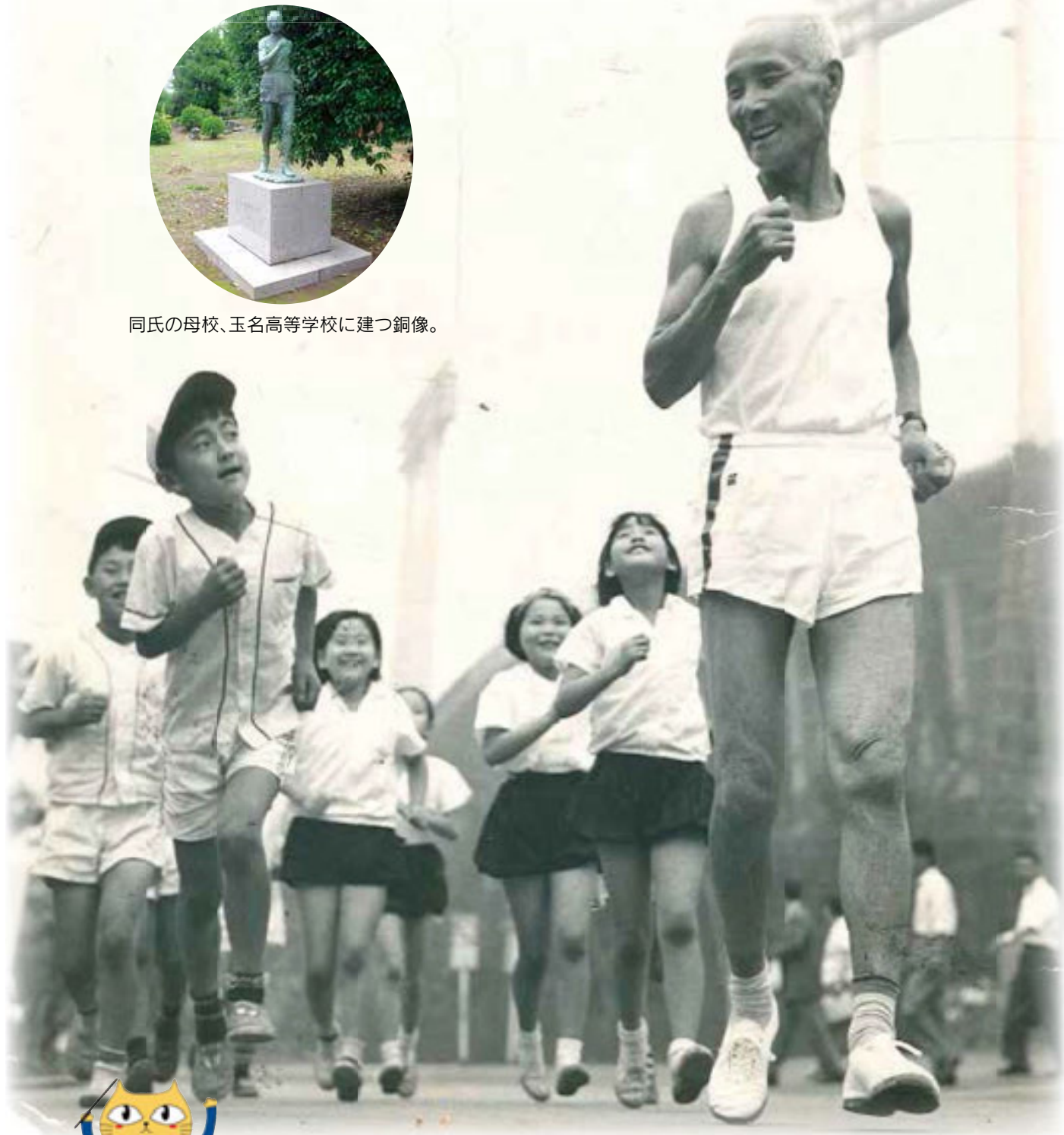


たまな 市議会だより

平成29年
6月定例会
平成29年8月1日発行
NO.47



同氏の母校、玉名高等学校に建つ銅像。



玉名市マスコット
「タマにゃん」

■東京オリンピックの年1964年に国立競技場で子どもたちと走る金栗四三さん。
玉名市名誉市民である金栗さんが、2019年NHK大河ドラマの主人公に決定!!

主な討論

玉名市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定に関する討論

原案賛成

作本 幸男

全国の地方自治体において厳しい財政状況を背景に行財政改革として行政の効率化や改廃、職員数の削減などさまざまな身を切る改革が行なわれている。自治体改革は、議会も真に一体となった改革が必要である。

原案反対

前田 正治

削減すると①市民の意見・要望を市政に届けるパイプを小さくする②市政を監視・チェックする役割が弱体する。削減は議会の自殺行為と言わざるを得ない。市民からは議会や議員の役割を、十二分に発揮することが求められている。

原案反対

中尾 嘉男

合併から12年、中心部と比べ、郡部は辛抱してきた。これからは郡部に力をいれてほしいが、定数が減れば郡部の議員が減るのではと心配する。また、提案理由では、合併算定替が減るからというが、基金をかなり積み上げており、相違があるのでは。

平成29年第4回定例会 議案の審議結果

■全会一致で承認、可決した議案

議番号	議 案 名	議番号	議 案 名
議第38号	専決処分事項の承認について 専決第3号 平成28年度玉名市一般会計補正予算(第12号)	議第49号	平成29年度玉名市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)
議第39号	専決処分事項の承認について 専決第4号 玉名市税条例の一部を改正する条例の制定について	議第50号	玉名市教育センター条例の一部を改正する条例の制定について
議第40号	専決処分事項の承認について 専決第5号 玉名市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	議第51号	市道路線の認定について
議第41号	専決処分事項の承認について 専決第6号 玉名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	議第53号	工事請負契約の締結について(※天水公民館建設工事)
議第42号	平成29年度玉名市一般会計補正予算(第2号)	議第54号	財産の取得について
議第43号	平成29年度玉名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第55号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第44号	平成29年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第56号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第45号	平成29年度玉名市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)	議第57号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第46号	平成29年度玉名市九州新幹線漏水等被害対策事業特別会計補正予算(第1号)	議第58号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第47号	平成29年度玉名市水道事業会計補正予算(第1号)	議第59号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第48号	平成29年度玉名市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	議第60号	公立玉名中央病院企業団の共同処理する事務の変更及び規約の全部変更について
		議第61号	工事請負契約の変更について(※大正開漁港(新港部分)しゅんせつ工事)
		議第63号	普通財産の無償譲渡について
		議第64号	工事請負契約の締結について(※玉陵小学校屋内運動場建設工事)

■賛否の分かれた議案

議 案		北本 将幸（無会派）	多田 啓二（無会派）	松本 憲二（自友党）	徳村 登志郎（公明党）	城戸 淳（新生党）	西川 裕文（新生党）	嶋村 徹（市民党）	内田 靖信（自友党）	江田 計司（無会派）	田中 英雄（市民党）	横手 良弘（市民党）	近松 恵美子（無会派）	福岡 譲治（無会派）	宮田 知美（市民党）	前田 正治（共産党）	作本 幸男（新生党）	森川 和博（保守前進）	高村 四郎（自友党）	中尾 嘉男（無会派）	田畑 ひさよし（保守前進）	小屋野 幸隆（保守前進）	竹下 幸治（無会派）	吉田 ひとく（保守前進）	永野 忠弘（自友党）	議決結果
議第52号	工事請負契約の締結について（※玉名市総合体育館メインアリーナ空調設備工事）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	議長	原案可決 （賛20、反3）
議第62号	平成29年度玉名市一般会計補正予算（第3号）	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	議長	原案否決 （賛11、反12）
意見書案第 3 号	熊本地震被災者の住宅再建支援の拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	議長	原案可決 （賛14、反9）
議員提案案第 2 号	玉名市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	原案可決 （賛21、反2）

※市民ク…市民クラブ／新生ク…新生クラブ／自友ク…自友クラブ／保守前進…保守前進クラブ／無党派…無党派

請願・陳情 審議結果

件 名	所管委員会	委員会結果	本会議最終結果
請 第1号 岱明ふれあい健康センターに併設した岱明町公民館の早期建設に関する請願	公共施設等建設特別委員会	継続審査(賛成多数)	継続審査(全会一致)
請 第3号 金栗四三先生の業績をたたえ、玉名市及び小田校区を全国にアピールすることを求める請願	総務委員会	採 択(全員一致)	採 択(全会一致)
請 第4号 熊本地震被災者の住宅再建支援の拡充を求める意見書の提出に関する請願	文教厚生委員会	採 択(全員一致)	採 択(賛成多数)
平成28年陳 第7号 北坂門田地区、中坂門田地区、南坂門田地区の坂門田川水系における水田構造改善事業を求める陳情	建設経済委員会	不採択(賛成少数)	不採択(賛成少数)
陳 第6号 石貫地区の松本橋の存続と早急な修復を求める陳情	建設経済委員会	採 択(全員一致)	採 択(全会一致)

人 事

人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。(敬称略)

★人権擁護委員候補者

・荒川 貴史(玉名地区)	・久保田 廣己(玉名地区)	・濱崎 順子(岱明地区)
・寺岡 和夫(岱明地区)	・笠 哲郎(天水地区)	

議員定数条例を改正、2人削減し22名に!

第4回定例会(6月)

平成29年第4回定例会が6月8日から30日まで23日間で開催した。専決処分の平成28年度玉名市一般会計予算・平成29年度一般会計予算など29議案(予算10・条例5・その他9・人事5)を審議し、28議案可決した。

市民会館建設工事の入札不調が続いており、熊本地震の復興を初めとする建築ラッシュにより建設業者に受注する余力がないことや資材高騰・労務単価が上がっていることなどが原因と考えられるため、設計費の見直しを行なう必要が生じたことから、平成29年度玉名市一般会計補正予算(第3号)「市民会館建設工事費用再積算業務委託料142万6千円の追加」が上程されたが、議論の末、否決した。

また、玉名市議会議員定数条例は、合併から12年を経過しようとしている中、人口減少、また、普通交付税に加算されている合併算定替が減少している実情を考慮し、議員みずから身を切る改革を行なうべきとの理由で議員提案され、賛成多数で可決した。

■可決した議案の主な内容は

◎農業施設の機械購入のための補助金

〔6億8千589万円〕

◎熊本地震復興基金の自治公民館や宅地等の復旧に対する補助金

〔7千503万円〕

◎玉名市議会議員定数条例を改正し、議員定数をこれまでの24名から2名削減し、22名とした。この定数は、平成29年10月22日執行の玉名市議会議員選挙から適用される。

※予算執行が留保されていた国際スポーツ大会キャンプ等誘致推進費関連予算は、議会の意思に合致したとみなされ、予算の執行が認められた。

〔190万7千円〕

■その他、請願・陳情

◎金栗四三先生の業績をたたえ、玉名市及び小田校区を全国にアピールすることを求める請願は採択した。

◎石貫地区の松本橋の存続と早急な修復を求める請願・他1件を採択した。

◎北坂門田地区、中坂門田地区・南坂門田地区の坂門田川水系における水田構造改善事業を求める請願は不採択とした。

◎岱明ふれあい健康センターに併設した岱明町公民館の早期建設に関する請願は継続とした。

主な討論

熊本地震被災者の住宅再建支援の拡充を求める意見書の提出に関する討論

原案賛成

前田 正治

文教厚生委員会では、この請願が全会一致で採択され、被災者の気持ちに寄り添った判断が示された。熊本地震災害から1日も早い復興復旧は被災者のみならず、県民・国民の悲願である。議員の良識ある判断をお願いする。

原案反対

徳村 登志郎

「一部損壊」の住宅・倉庫などの復旧工事には玉名市独自の補助事業が既に行なわれている。地震直後ならともかく、さまざまな支援が行なわれている現在、なお、支援金の増加や支援の拡充を求めるのはいかながなものか。

原案反対

田畑 ひとよし

この案件に関しては、入札以前より、行政関係者の発言や行動に問題がある事を情報収集で判明。開札後、低入札価格業者に対する調査のあり方、仕様書に明記してある機器に対して見積書の取り方に日程の疑問がある。

就学援助費 入学前支給を！

文教厚生

平成29年6月26日開催

- 予算4件、条例2件、請願1件
- 主な審査項目
- ・28年度一般会計補正予算
 - ・玉名市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・29年度一般会計補正予算
 - ・29年度国民健康保険事業特別会計補正予算
 - ・教育センター条例の一部を改正する条例の制定について
- 主な質問と回答
- Q、公費解体で発生した廃棄物の仮置き期間は、また、解体が間に合わない場合の延長はあり得るか。
- A、仮置き場（水の守）の搬入は12月末までとし、来年の3月末までにはその後の処理と跡地整理を完了する予定。仮置き期間後は、処分場への直接搬入も検討する必要がある。
- Q、今年度の待機児童の状況は、保育士の確保ができていなかったことが要因か。
- A、4月現在で12名。保育士は昨年よりも確保できているが、3歳未満児の入
- Q、地域コミュニティ施設等再建支援事業補助金の対象となる施設は、被災した地域の祭りや行事等に利用されているお宮やお堂等が対象で、施設を管理する集落や自治会に交付する。
- Q、要保護児童の就学援助費が入学前に支給できない理由は。
- A、市内在住の園児であれば入学の把握ができるが、転入転出を伴う場合は、支給の重複や他市町との差額の問題等がある。先行して導入した市を参考に直したい。
- Q、教育支援センターでは不登校の児童に対してどのような学習指導を行なうのか。
- A、学校での学習内容を中心に行なうが、時間も限られているため興味を持つものを中心に行なう予定。学習指導だけでなく生活指導も行なう。
- Q、みなし仮設住宅の入居期間は、
- A、最長2年間。

3支所窓口業務は十分な検証を！

総務

平成29年6月22日開催

- 予算3件、条例2件、請願1件、その他7件
- 主な審査項目
- ・玉名市税条例の一部を改正する条例の制定
 - ・29年度一般会計補正予算
 - ・工事請負契約の締結
 - ・公立玉名中央病院企業団の共同処理する事務の変更及び規約の全部変更
- 主な質問と回答
- Q、岱明・横島・天水の3支所の窓口業務について、業務委託から、非常勤職員配置（岱明支所2人・横島支所1人・天水支所1人）への変更は、検証してから決めたことか。
- A、窓口業務はまず職員で対応するのが基本で、サポートとして非常勤職員が必要であり、検証しながら支障等が生じる場合は、増員をお願いする。
- Q、現在3支所にいる職員は、窓口業務の経験はあるのか。
- A、未経験の職員がいるようなので、窓口業務委託から非常勤職員に変わる8月までに研修等を行ないたい。
- Q、学校へのパソコン導入は、すべての学校に導入されるのか。
- A、今回横島小、玉水小、小天小、小天東小に計115台を導入し、すべての学校への導入を完了する。
- Q、市民会館の建設事業で、入札不調のため設計の再積算を行なう委託料は、熊本地震等で物価も高騰している中で、しばらく待ってみてはどうか。
- A、内示を受けている交付金を無駄にしたいくないのでこの計画を進めたい。
- ※市民会館建設工事費再積算業務委託については異議が出たが、総務委員会では賛成多数で可決した。
- ※金栗四三先生の業績をたたえ、玉名市及び小田校区を全国にアピールすることを求める請願については、平成31年NHK大河ドラマで、地元出身の金栗四三先生の業績をドラマ化されることになり、多くの観光客等が見込まれるので、地元と協力して整備を図り、玉名市をアピールしてほしいなどの要望があり全員異議なく請願は採択すべきものとした。

旧庁舎跡地東側市道の拡幅を！

公共施設等建設特別

平成29年5月25日開催

- 主な質問と回答
- Q、岱明町公民館建設については相反する請願が提出されており併設と現地建てかえで意見が2分している。老朽化した公民館の早急な建てかえに異論はないが、大事なのは地元の意向であり積極的な話し合いを進めるべきではないか。
- A、ふれあい健康センターとの併設案件については、既存施設を有効に活用した質と量の最適化を基本理念として、現地建てかえ案と比較検討した上で、総合的にすぐれているとの結論である。
- Q、天水支所周辺施設集約化で桜の木は伐採する必要があるのか。
- A、建設の際支障があるため伐採する。桜の木は、五反池対面にもあり景観上は問題ない。
- Q、隣保館と児童センターを集約する効果は。
- A、お互いの施設を利用して高齢者と子どもたちの世代間交流が図られ、運営コストが一本化されることで経費の削減につながるものと考える。
- Q、旧庁舎跡地の東側市道の拡幅は。
- A、保育所の建設場所を見極める必要がある。多くの意見を聴取して新たな構想の中で検討する。
- Q、市民会館建設の入札不調の原因分析は。
- A、地元の業者が他に多くの現場を抱えており、申し込みが1者しかなく、その1者についても辞退した。採算が合わない等の理由から辞退となったのではないかと。
- Q、岱明中央公園グラウンドを400メートルトラックに拡張して整備ができないか。
- A、建設検討委員会の建議を基本に選定してきた。建議を考慮し検討する。



▲新しく開館した岱明図書館

暗渠整備事業の農業者負担に配慮を！

建設経済

平成29年6月23日開催

- 予算7件、その他1件、陳情2件
- 主な審査項目
- ・28年度一般会計補正予算
 - ・29年度一般会計補正予算
 - ・石貫地区の松本橋の存続と早急な修復を求める陳情
 - ・北坂門田地区、中坂門田地区、南坂門田地区の坂門田川水系における水田構造改善事業を求める陳情
- 主な質問と回答
- Q、団体営農業農村整備事業（暗渠整備）の補助額が減額になった理由は、農業者の負担軽減を考えては。
- A、制度開始当初、工事費は10アール当たり約30万円と見られ、2分の1の15万円補助とした。実際は、全国的にも15万円くらいでできたことから、100%補助となる15万円では多いとの判断で、工事費の3分の2の補助となる10万円となったと聞いている。負担軽減については、近隣市町村の状況を確認して検討したい。
- Q、被災者向け経営体育成支援事業の対象と補助率は。
- A、全壊や半壊の判定を受けた農業用の倉庫や機械が対象で、倉庫などの解体
- ※北坂門田地区、中坂門田地区、南坂門田地区の坂門田川水系における水田構造改善事業を求める陳情については、地元役員等の努力は理解するが、事業実施に必要な同意率95%の同意が得られてから再度陳情すべきものとした。
- ※石貫地区の松本橋の存続と早急な修復を求める陳情については、通行車両の限定や臨時的な橋の設置など、地域の方と話し合い、検討してもらいたいとの意見から採択すべきものとした。
- 陳情
- Q、平成31年NHK大河ドラマでは主人公の一人に玉名市名譽市民の金栗四三氏が決定、菊池川流域の米づくりの日本遺産認定を受け、これから玉名市を売り出していくため、職員の体制は大丈夫か。
- A、市役所内関係各課で横断的に、それぞれ役割分担しながら対応していく。
- 陳情
- Q、平成31年NHK大河ドラマでは主人公の一人に玉名市名譽市民の金栗四三氏が決定、菊池川流域の米づくりの日本遺産認定を受け、これから玉名市を売り出していくため、職員の体制は大丈夫か。
- A、市役所内関係各課で横断的に、それぞれ役割分担しながら対応していく。
- 陳情
- Q、平成31年NHK大河ドラマでは主人公の一人に玉名市名譽市民の金栗四三氏が決定、菊池川流域の米づくりの日本遺産認定を受け、これから玉名市を売り出していくため、職員の体制は大丈夫か。
- A、市役所内関係各課で横断的に、それぞれ役割分担しながら対応していく。



議員 県北拠点都市を標榜する玉名市だが、陸上競技場は300メートルトラック、野球場は軟式用ということで大きな大会はできないし、高校野球の公式試合もできない。柔道の大会を大きくして経済効果に寄与したいの考えも聞く。玉名市総合体育館に畳の整備はできないか。今後の市の考えはどうか。

教育部長 本市には20の体育施設があり、老朽化した施設の維持管理を優先している。今後の体育施設の整備は、財政状況を考慮した整備計画が必要であり、これからもより良い体育施設の維持や整備を進めていきたい。

議員 経費節約の一環で事務機器の異課共用があると聞く。個人情報の漏れは？ごみ袋の形状が変わった。収納量が少ないのでは。

企画経営部長 個人情報等の取り扱い、情報セキュリティポリシーを定め



▲新しいごみ袋、持ち手がついて便利になったが

議員 玉名市食料・農業・農村基本計画は農業を基幹産業とする玉名にとって大切な計画と思うが、具体性に欠ける。市としてどう生かすのか。

産業経済部長 農業者や農業団体だけでなく、市民の方々のご理解と協力をいただきながら、基本計画に基づき地域に合った事業の推進を図っていく。

「玉名市食料・農業・農村基本計画」について

市民生活部長 平袋タイプのごみ袋に對してレジ袋タイプは、結びしろ部分の容量が減少するが、ごみを入れる部分の容量は同じである。

適切な管理、個人情報の保護等に万全を期しながら、安定的な行政サービスの運用に努めている。個人情報の漏えいはない。



福嶋 譲治
(無会派)

県北拠点都市としての体育施設の整備は

議会基本条例 議会基本条例の素案の協議に突入 本市の独自性・個別性を追求した

平成29年4月28日、5月8日・29日、6月8日開催

4月28日 第5回委員会 5月8日 第6回委員会

この2回にわたる委員会では、本市議会が議会基本条例を制定するに当たり条例に何をうたい込むのか、先進自治体の事例や本市議会が描く理想の議会像から個別検討事項を可能な限り抽出し、その中から本市条例に規定する事項を選定する作業へと取りかかった。抽出した事項は全78項目。各項目の内容を精査しながら、協議・検討を行なった。その過程で次の点について意見が交わされた。①議会報告会のあり方。②条例制定後の見直し手続。③反問権設定の是非。④予算・決算における政策説明資料作成の義務化。⑤議員による政策提案のあり方。⑥各種会議の公開の是非。委員会による調査と協議の結果、条例前文を含む計55項目を選定。この選定結果をもとに以後、条例素案の作成に着手することとした。

5月29日 第7回委員会

先の委員会で選定した検討事項55項目、及び5月23・24日

に視察した北海道帯広市議会・芽室町議会の先進的取り組みを参考に作成した条例素案について、その内容の確認を行なった。条例の構成は、前文ほか全49条。条文数が先進自治体や県内他市の議会基本条例と比較して平均の1.5～2倍の分量となったが、これは本市の目指す議会基本条例が他市に見られるように議会の基本的事項を定めたものにとどめるだけでなく、これから改革を進めていくに当たって達成しようとする改革事項を多岐にわたって積極的に採用したこと、本市議会の最高規範にふさわしい条例とすべく条項の内容を充実させたことなど、本市議会の独自性・個別性を追求したことに起因する。また、この委員会では、議会の品位品格の保持を目的に「議員の不穩当・不規則発言の抑制規定」を追加整備することとした。そのほか、この委員会での協議結果は次のとおり。①反問権は、質問の趣旨確認の発言の範囲内にとどめること。②全員協議会も対外的に公開していくこと。③議会基

6月8日 第8回委員会

この委員会では次の2点について大きく変更を加えた。1点目は議会基本条例に制定根拠を置く「玉名市議会災害対策基本条例（仮称）」の策定について。本委員会では従来から検討していた議会の災害時行動指針を理念条例に格上げしての整備を目指す。

本条例の理念浸透のため、議員の条例研修義務規定を設けること。④議会の災害時行動指針を整備すること。⑤会派の設置根拠を規定すること。⑥議会ICT（情報技術推進）の整備を進めること。⑦委員会審査用資料の公開の可否は執行部判断にもよるが、公開に際しては情報の保護にも配慮すること。⑧条例制定後の見直しは「議会改革推進会議」を設置して行なうこと。⑨市民に対する説明は議会報告会を開催するのではなく、所管の委員会が専門性と機動性を生かして対応し、多様な意見交換の場を設けること。⑩自治基本条例との兼ね合いについては、二元代表制を尊重し同列・同格扱いを理想とすること。

熊本地震の際、議会における行動指針がなかったがために議員各位が判断に苦慮したことへの反省と改善、そして災害下における的確な議会機能の維持を目的とする。2点目は、市長等附属機関への議会選出の辞退の規定の明文化。二元代表制の趣旨に鑑み、議決機関の構成員である議員が執行機関の構成員となることは自治制度の理念に反することから、法に規定された委員以外の議会選出を辞退する旨を規定するもの。この代替措置として附属機関で策定される市の上位計画や重要施策を議決事件に追加し、議案として審議・審査の充実を図っていく。その他、この委員会では条文の内容や文言の修正に伴い、条文の構成を全51条へと変更した。

条例素案については現在、文言の修正を繰り返しながら完成度を高める作業を継続中。本委員会では、次期定例会における議会基本条例案の上程を目的に、残された期間、粉砕碎身の努力を傾注してまいいる所存である。



吉田 きとく
(保守前進クラブ)

空家対策特別推進法、立願寺温泉街の西側にある廃ホテルは

議員 立願寺温泉街の西側にある廃ホテルの行政代執行について。

総務部長 市としては、行政代執行は最終手段と考える。まずは、空き家等の所有者が管理責任を負うことへの理解を深め、所有者・行政及び関係団体等が協力し、解決を図る支援体制を整備する。具体的には、特定空家に該当するか判断し、所有者に対し、助言・指導・勧告・命令等を行なっていく。

議員 教育問題①土曜授業の取り組み内容②③キッズウィークについて。

教育長 ①本年度より土曜授業の実施が可能となり、既に2校の小学校が地域の実態と特色を生かし、地域と共にある学校を目指し実施した。②社会情勢を見きわめながら、子どもを取り巻く環境の条件整備を図り、子ども第一主義で判断していく。

議員 防災計画等に関する市の見解は。

総務部長 防災対策を行なう上で、必



▲赤十字飛行隊熊本支隊長による講演会

議員 赤十字飛行隊との協定について。

総務部長 赤十字飛行隊は、平成26年5月に熊本県と大規模災害時の公共土木施設被害状況の空撮を行なう協定が締結されている。今後は、自治体間での支援要請が競合する等の課題もあり、協定の締結については、現状を十分に踏まえ、検討する。

(注)小中高校の夏休みなどの一部を地域ごとに別の時期に割り当てる大型連休

要な施策は自助・共助・公助による防災意識の向上であり、官民が一体となった仕組みづくりが必要である。今後、現状の防災計画で不足している避難所運営マニュアル等について、本年度から2カ年で地域防災計画策定業務委託を実施し、本市の防災計画の策定を行なう。

議員 玉名市総合体育館（桃田）メインアリーナの空調設備工事の入札が終り仮契約まで進み議会の承認の段階となっているが、入札結果の内容、低入札価格調査の行政の対応に疑問がある。低入札業者1者に課せられた、低入札価格調査時には、18項目の書類提出が義務づけられている。提出してあれば全面開示を要求する。5月11日入札、5月12日開札、5月22日低入札価格調査と私の質問に対して答弁があり疑問が更に深まった。低入札業者は5月11日前、5月22日低入札価格調査以前に、仕様書に明記してある機器を所有する会社からの見積書を取っていない。類似品の機器の会社の見積もりで入札したと思われる。この業界に仕様書に明記された機器以外に、同等以上の機器はないのがその理由である。低入札業者は5月23日の午前8時6分に見積もり書を依頼をして、その日に見積もり書を



▲玉名市総合体育館（桃田）

FAXで受けている。玉名市は5月24日に低入札業者を正式決定して通知を発送している。見積り書受領と調査日の違いに疑問。

企画経営部長 予定価格の範囲内で最低の価格で入札した者の価格が、低入札価格調査基準価格を下回った。そのため、低入札価格調査を実施したところ、その価格で契約内容に適合した施工ができるものと判断し、落札を決定した。使用する機器については、現段階ではどのような製品を使うかは決まっておらず、仕様書に記載した製品と同等の能力を有するものであるかどうかを施工前に請負業者と十分協議して決定する。見積書の件は業者間で行なわれていることなので、市としては関知していない。

議員 就学援助における入学準備金の支給時期は小・中学校ともに、平成30年度から入学前に実施可能か。

議員 新小学1年生の事前把握や保護者への周知、申請窓口になる学校や教育委員会の事務スケジュールの整理、市内の小中学校へ入学しなかった場合の対応など課題が多い。他市の実施状況を参考に慎重に検討する。

議員 行政区の統合について、市はどのような方針か。

総務部長 平成17年の市町合併の際に



▲閉校式典を知らせる横断幕

「行政区の範囲・規模等に相違があることから、地域性・歴史性を考慮しながら、再編・統合を検討する」との趣旨が示されており、この方針は、現在においても何ら変わらない。

議員 行政区の統合については、区民の自主性を尊重し、合意ができた区から順次統合する方法を強く求める。区の統合推進に当たり、留意点は何か。

総務部長 行政区統合の意思決定の権限は、それぞれの自治会や集落に帰属すると考えている。地域の自主性や主体性を十分に尊重して進められるべきと認識しており、このことが統合推進に当たり、最も留意すべき点であると考えている。

小学校統合は

再検討すべき！

田中 英雄
（市民クラブ）

議員 玉陵中学校区の6小学校は平成30年4月より玉陵小学校として統合され、現在、新たな校舎等が建設中である。また、天水中学校区の3小学校も「玉名市学校規模・配置適正化基本計画（平成24年）」により説明会が行われている。ただ、玉水小学校区からは統合計画に反対との請願が提出され、議会では全会一致で採択されている。行政の責務は道路・上下水道・学校・病院などのインフラの適切な整備とサービスの向上にある。生徒数にのみこだわり、学校をなくすことは地域社会に大きなマイナスとなる。平成24年の計画発表時よりも大野小学校、横島小学校は生徒数は増えていて、統合する必要はない。玉陵中学校区の生徒数も今後は大幅に増加することが予想される。玉名市全体を見渡し人口減少対策を講じていくことで生徒数を増加する方向での政策を進めるべきと考え



▲統合反対の声が上がる玉水小学校

る。統合計画の柔軟な対応、計画の見直しを検討すべきだ。

教育部長 玉名市学校規模・配置適正化基本計画は、子どもたちにとって、社会を生き抜く力に身につくような望ましい教育環境を創出するという観点から、子どもたちのことを第一に考え策定されたものだ。また、玉名市学校規模適正化審議会からの建議を経て、市民の皆様のご意見を踏まえて策定されたものであり、民意が反映した非常に重要な計画と認識している。

今後の児童生徒数の大きな変動、教育制度の動向等に適応した方針転換などが必要になることもあるが、今時点では、引き続き学校規模の適正化に向け、計画的な学校再編を推進することが最善と認識している。

玉名市活性化につながる観光戦略を！

北本 将幸
（無会派）

議員 物産館、道の駅のような玉名市での消費増につながる新たな観光拠点の整備についての考えは。

産業経済部長 今のところ本市単独での計画はない。しかし、観光の傾向が団体旅行から個人やグループ旅行に移行している動向も踏まえ、民間の力をお借りすることも検討していく。

議員 名誉市民である金栗氏のNHK大河ドラマ決定によるフルマラソン事業への取り組みについて。

教育部長 金栗杯玉名ハーフマラソン大会やいちごマラソン大会のフルマラソン化は容易でなく、新規でフルマラソン開催は現在考えていない。今回の大河ドラマ決定は全国発信のチャンス。現在の金栗杯玉名ハーフマラソン大会を盛り上げる取り組みを考える。

未来ある子どもたちに十分な支援を！

議員 子どもの貧困対策に取り組むに



▲新玉名駅にある観光拠点、観光ほっとプラザ「たまララ」

当たって現状把握が必要だと思つが、玉名市における実態調査の実施は。

健康福祉部長 今年6、7月に熊本県が実施主体となり県内全市町村で「子どもの生活実態調査」を実施する。本市においては、各市町村ごとに公表される県の調査結果をまず参考にする。

議員 子どもの貧困対策に取り組む中で子どもの居場所づくりも重要だと思つが、子ども食堂等の居場所づくりに対するサポート体制について。

健康福祉部長 市では子ども食堂の実施や支援は行なっていない。状況に応じて、NPO法人が実施している食事付き夜間学習支援の紹介などNPO法人等と情報共有などして連携していく。

※このほか、介護予防・日常生活支援総合事業について質問した。



松本 憲二
(自友クラブ)

新玉名駅駐車場の 有料化の検討は

議員 新玉名駅駐車場は駐車スペースが不足しているということで、総工費1億9千万円をかけて駅西側に新しく駐車場がつくられた。駅西側駐車場完成後に有料化の検討もするという見解だったと認識しているが、有料化の検討はされているか。

建設部長 現在、整備中の西側駐車場を臨時的に開放したため、混雑は発生していない。今後、西側駐車場は、8月末に閉鎖し、地盤の落ちつきを見て、舗装工事を行なう。有料化については、一時利用者や定期利用者の利用形態も考慮しながら、駐車料金のあり方について、利用者になるべく負担がかからないように検討を重ねている。

玉名市の基幹産業である 農業の今後について

議員 玉名市食料・農業・農村基本条例、計画を策定されたが、地域別に

ジョンを策定する必要があると思うが。

産業経済部長 計画では本市の農業が将来的に維持・発展させるため、重点的に取り組む施策や事業を示している。地域別ビジョンについては、山間部や平坦地等の条件に違いがあるため、今計画で網羅していない部分については、今後検討を行なう。

議員 暗渠事業補助金の内容変更がいつているが、今後の暗渠事業に対して市から補助金の考えはあるのか。

産業経済部長 制度見直しにより補助限度額の変更が生じ、個人負担が発生する見込みである。工事要望のうち、未整備面積が500ヘクタールあるため、市補助金の財源確保は厳しいと思われる。他事業との兼ね合いも含め、負担金軽減に向けて検討する。



▲暗渠事業の施工風景



徳村 登志郎
(公明党)

「新入学児童生徒学用品費」の 入学前支給は可能か

議員 本市の就学援助の現状、一般の文部科学省の制度改革を受けてからの本市の対応について問う。

教育部長 増額改定分を6月補正予算に計上し、今年度から支給対象としている。入学前支給については、周知方法や学校・教育委員会の事務スケジュールの整理、市内の小中学校へ入学しなかった場合の対応など課題が多い。他市の状況を参考に慎重に検討する。

糖尿病・透析における 重症化「足病」予防について

議員 本市における糖尿病患者と透析の実態、「^注下肢末梢動脈疾患指導管理加算」が実現してからの本市医療現場での取り組みについて問う。

健康福祉部長 昨年5月、国保被保険者で、糖尿病の治療者は2千193人、人工透析者は、本年3月で251人。市内で2医療機関が厚生局へ届出して

いる。市では、保健師や管理栄養士の訪問指導や説明会等により糖尿病の重症化予防（足病変等）に努めるとともに、医療機関と連携を進めていく。

胃がん予防のためのピロリ菌検査の 導入とその費用助成について

議員 昨年、一般質問したその後の対応・進捗を問う。

健康福祉部長 がん予防の効性、国の指針や動向を見きわめながら関係機関等と協議したがピロリ菌検査は、死亡率減少効果の検証が十分でないため、現時点で助成の導入は考えていない。

（注）「下肢末梢動脈疾患指導管理加算」とは、下肢救済・足病治療のため必要な検査や、専門機関との連携などを行なった場合に加算される医療報酬点数のこと



いちごマラソン参加料の 引き下げについて

議員 横島町いちごマラソンの参加料が値上げされているが、その理由は。大会の収支はどうなっているか。

教育部長 将来において安定的な運営を継続するには、大会運営は参加料で賄うことが基本と考え、実行委員会が値上げが承認された。大会の収支は第39回大会で収入が2千615万円、支出が2千259万円となり、残高356万円を次年度に繰り越している。

議員 地元中学生だけでも参加料の引き下げはできないか。

教育部長 大会はおもてなしの場であり、公平性にも欠けるため、地元中学生だけの引き下げは考えていない。



宮田 知美
(市民クラブ)

窓口払いのない子ども 医療費助成制度について

議員 窓口払いのない現物給付と、一旦、窓口で自己負担額を払う償還払いの助成制度がある中、玉名市は県下14市中1市のみの後者による償還払いを採用している。しかし、病院などは医療機関が利用者にかわって月ごとに、市に自己負担額の償還払いの手続きを行なうなど、現物給付にない事務量が負担になっている。また、利用者負担として一過性の病気の場合は一度の診察代で済むけど、現代病のアトピー性皮膚炎や継続診察は何度も受診し費用がかさむため、病院へ行くのを控える未受診や病気への対応が遅くなり、悪化させるケースもある。円滑な業務や子育て世代の負担軽減として玉名市も現物給付にできないか。

健康福祉部長

現物給付の場合、医療機関窓口での支払いや申請書の提出、市の審査業務が不要になり、医療機関の申請手続きも軽減される。しかし新



たに支払基金や国保連合会への審査支払事務手数料が発生し、現物給付による国民健康保険への減額調整措置の対象となり、国からの助成金が減額される。また、医療費増も見込まれる。市民の方々が医療機関窓口で一部負担金を支払うことが医療機関への未受診につながるかは明確なデータはない。市としても貧困により医療機関を受診することができない状況はあってはならないと考え、これまで助成対象を広げてきた。玉名市の場合、償還払いだが、現在、全額助成しており、現物給付であっても自己負担が必要な市町もある。今後は、国民健康保険の国庫負担金減額調整の動向等を注視しながら、現物給付の導入の検討も含めて、利用しやすい制度づくりを進めていく。

外平山を 防災に特化した公園へ



中尾 嘉男
(無会派)

議員 山の上展望公園は、横島町住民にとつて特に重要な高台の避難場所であるが、駐車スペースは少ない。外平山を防災公園にするため、どう整備するか。また、アクセス道路の整備は。

総務部長 避難場所確保は横島地区に限らず市全体における防災上の重要な課題である。山の上展望公園とは別の場所への確保は、多額の事業費が必要であり、整備後は経常的な多額の維持管理費が発生する。そのため既存の公園内への避難車両の乗り入れや、将来的には、山の上展望公園と経塚公園を結ぶ市道周辺やアクセス道路の整備等について検討を図る。

議員 唐人川堤防の熊本地震による被害状況は。

建設部長 堤防のコンクリート剥落や亀裂等の被害があり、現在、唐人川防潮樋門から上流の約1kmまでの区間の復旧工事を行なっている状況である。



▲毎年、多くの参加者が横島路を走る



多田 限啓二
(無会派)

キラリかがやけ玉名づくり 応援補助金について

議員 制度見直しにより今年度から補助率の段階的な減額が行なわれているが、なぜか。各団体に対する聞き取り調査・説明は十分でないと思うが。

企画経営部長 各団体への調査や聞き取りは行なっていないが、団体の将来的な自立を目指し、補助率の段階的な減額により、平成31年度までの3年間で、自主的な活動ができる団体をもっと増やしていく。また、ホームページや広報紙等で周知を行なう。

大丈夫かー玉名市の危機管理

議員 弾道ミサイルの情報がどのように伝達されるか心配される。本市は全国瞬時警報システム（Ｊアラート）と本市の防災無線は連動しているのか。

総務部長 現在、Ｊアラートと防災行政無線との自動連動はできていないが、緊急エリアメール、玉名市安心メールと自動連動を図り、緊急情報を瞬時に

携帯電話へ配信している。

議員 Ｊアラートと防災行政無線が連動していないことの市民の方への周知広報の考えを伺う。

総務部長 市のホームページ及び7月1日号の広報たまなを通じて周知の徹底を図っている。また、現在準備を進めている防災行政無線の再整備にＪアラートとの自動連動を計画している。

本市の教育について

議員 築山小学校5年生の児童がプレハブ教室で授業を受けている。整備計画に基づき、どう進めていくのか。

教育部長 今後の児童数の推移を把握しながら、学校施設整備計画に基づき校舎を改築または増築することになる。それまではプレハブ校舎を利用する。



▲いつまで続くのかプレハブ校舎



近松 恵美子
(無会派)

子どもの側に立った 子育て支援を！

議員 岱明の学童保育所は、8畳間に20〜25人収容しているような過密状態であり、体調を崩した子どもは廊下に寝せるしかない現状である。120名の子どもたちが、のびのび遊べるよう、岱明B&G海洋センターあたりに建設できないか。

健康福祉部長 岱明地域での学童クラブの増設に向けて、クラブ室の確保や運営支援体制の整備を進めていく。

議員 学童保育所は家庭のかわりをする場所であるから、調理設備は欠かせない。玉陵小学校内の学童保育所は新設なので、おやつづくりができるくらいの調理場を設置できないか。

健康福祉部長 既に工事請負契約を締結しているため、請負業者と相談して対応できるものは対応していく。

議員 子どもたちが、土や水、草花、虫などで遊ぶ機会が激減している。保育施設で過ごす時間も長くなってきた



▲思いきり遊べる空間が欲しい！学童保育所

いる今日、保育所では家庭の機能を補う必要がある。玉名第1保育所建設の際には、自然環境豊かな、保育所にならないか。

健康福祉部長 議員の思いも受けとめながら、保育所づくりを推進したい。

メリケントキン草 撲滅対策を！

議員 数年前に指摘した、鋭い棘があり、危険なメリケントキン草が学校や公園、一般の家にも繁殖してきた。全庁あげて撲滅対策を。

市民生活部長 対策マニュアル等の作成や看板等を設置するなど注意喚起や拡散防止への対策を検討していく。

※そのほか、事務改善委員会の設置や公立玉名中央病院の建てかえ場所の安全性について質問した。



西川 裕文
(新生クラブ)

この3年半を顧みて 今感じることは

議員 有害鳥獣対策について、被害対策の状況と捕獲隊の現状、また、ジビエの商品化はできないか。

産業経済部長 有害鳥獣対策は、電気柵等に事業費の3分の1を補助し、総延長116キロメートル整備した。捕獲隊は41名、予備隊29名の70名で活動している。ジビエ肉の活用については、関係団体と検討する。

議員 来年のNHK大河ドラマは、「西郷（せご）どん」であるが、西南の役における関ヶ原の戦いと呼ばれる高瀬の会戦が行なわれたのは玉名市である。観光等対応はどう考えているか。

企画経営部長 西南戦争の転換点である「高瀬の激戦」や「西郷小兵衛戦死の地碑」なども脚光を浴びると期待される。西南戦争140周年で、協議会の立ち上げが予定されているなど盛り上がりを感じる。「いだてん」同様、チャンスをとらえ活用していく。



江田 計司
(無会派)

岱明町公民館建設は どうなるのか

議員 岱明町公民館建設については、岱明ふれあい健康センターとの併設と現地建てかえの2つの請願が提出されている。公民館は文化的な要素が強く、岱明ふれあいセンターは福祉と健康を目的としており、併設した場合に相乗効果が得られるのか。

企画経営部長 岱明町公民館と岱明ふれあい健康センターは、当初の設置目的こそ違うが、現在の利用状況は類似した目的の利用がなされているため、施設を併設することで共用ができ、利用状況の改善が図れると考えている。

大正開漁港跡地の 太陽光発電について

議員 土地の賃貸契約書では保証金、保証人がない。21年間貸し付けで将来を考えると不安である。契約相手会社の親会社は、「市役所から要請があれば保証人になってもいい」と言ってい

議員 本年4月、菊池川流域は日本遺産認定を受けた。玉名市内には14の構成文化財があり、新玉名駅周辺も菊池川流域の条里跡、区画割などが構成文化財となっている。今後駅周辺の開発に逆に支障はないか。

教育部長 日本遺産は地域の活性化に資することが目的の制度であり、規制等を伴うものではない。文化遺産や景観を生かして、バランス良く必要な開発を進めていくことが肝要と考える。

議員 輝け玉名「戦略21」の実践を顧みて、今、市長が感じること。

市長 就任以来施策を通して、市民の一人一人の思いが通じる市政を心掛けてきた。残された任期についても、「市民が輝き都市が輝き夢がひろがる玉名」の実現を目指し、全力を尽くす。



▲西南の役「関ヶ原」高瀬の会戦（「翔ぶが如く」）

るが、市から要請するのか。

市長 一般的に親会社の責任は当然あるものだし、今回の事案は損害を被りにくいものと考えている。保証人の件の連絡については検討する。

議員 高道海岸長保地区の堤防工事の進捗状況は。完成はいつになるのか。

産業経済部長 平成27年度より県営事業として実施されており、進捗率は平成28年度末で25・8％となっている。完成予定は平成31年度と伺っている。

議員 岱明中学校の屋外トイレは経年劣化が進んでいる。応急処置はしてあるが、安全性に問題はないか。

教育部長 露出した鉄筋のさび止め処理を応急的に行なったが、外見的には爆裂したままの状態であり、本年度中に再度改修工事を行なう予定である。



▲改修予定の岱明中学校の屋外トイレ

横手 良弘
(市民クラブ)

熊本地震の検証は

議員 震災ごみの処分とリサイクル率と公費解体の現状はどうなっているか、橋梁の点検と進捗状況はどうなっているのか。

市民生活部長 震災ごみは、東部環境センター等で適正に処理し、公費解体で発生した廃棄物は、水の守し尿処理場公園を仮置き場とし処理を行なっている。リサイクル率は約82%である。

健康福祉部長 公費解体の見込み件数は186棟で、現在の解体完了が99棟、進捗率は53・2%、契約完了まで含めると59・1%である。

建設部長 当市の市道橋は832橋あり、平成26年7月に法が改正され、5年に1回近接目視による点検が義務化された。点検は、業者委託により橋梁の健全度を診断し、結果に基づき措置を行なう。平成28年度末の点検率は67%であり、国の目標値60%を達成している。

行政区の区割り
自治公民館の設置について

議員 行政区は昔から地域のつながりがある。一概には言えないが、区割りと自治公民館建設の今後の考え方は。

総務部長 昨年、区長を対象に「行政区の再編意向調査」を実施した。まずは再編の意向を示した50世帯以下からなる行政区を対象に行政区の統合について協議を進めたい。

教育部長 自治公民館設置には、区の大小の規定はなく、建設や修繕等に当たっては、各行政区の負担となっており、市から補助金を支出している。今後も建てかえや改修等の相談に対応していく。

※その他、桜・藤・しょうぶ等花を生かした観光施策についても質問した。



▲仮置場(水の守し尿処理場公園)の廃棄物

城戸 淳
(新生クラブ)金栗四三氏のNHK大河ドラマ
観光振興の大チャンス！

議員 2019年NHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック騒々〜」の放送決定を受け、今後の本市の取り組みと地域活性化に向けた推進体制は。

企画経営部長 地域資源の活用策について、全職員を対象にアイデアを募り、30本の提案があった。全庁的に着実に取り組むための体制として「いだてん」プロジェクトチームを設置する。

議員 小田の住まいとお墓を観光地として整備できないか。また、広報宣伝活動の計画はあるのか。

企画経営部長 多くの観光客の来訪が予想されるため、整備については検討する。市ホームページや広報紙を活用し、さまざまな場面でPRしていく。

議員 金栗四三フルマラソンの計画を望む。近隣市町との連携の考えは。

企画経営部長 スケールメリットを生かすために、関係機関のほか、民間団体を含め協議会の設立を目指す。

学校施設について

議員 学校施設トイレ洋式化の普及率。

教育部長 玉陵小中学校並びに玉名町小学校の新築・改修後は41・1%となり、県平均を上回る。

議員 学校のAED(自動体外式除細動器)設置状況と講習の実施状況は。

教育部長 玉名市立の全小中学校に1台若しくは2台を設置している。

教育部長 講習については、学校ごとにPTAや教職員に実施している。

議員 学校遊具の点検の実態と玉陵地区6小学校の廃校の遊具の管理は。

教育部長 各学校で安全点検が毎月実施されている。跡地の利用方法が確定していいため、遊具については今後検討していく。



▲玉名市上小田にある金栗四三氏の記念碑とお墓

地域と連携した
定住化への取り組み

4月24日から26日にかけて、総務委員会の行政視察を実施した。

兵庫県三木市では、出合いから住居探し、定住まで切れ目ない支援を実施し定住促進をめざし、縁結び課を新設され、トータルサポートを行なっている。縁結び事業として、サポートセンターに委託し、婚活パーティー以外に地域住民によるサポート制度を設け、お見合いの場などを提供し、成婚に結びつけているなど、住民と連携した取り組みによって、高い成婚率を上げていた。

京都府綾部市では、「交流から定住へ。定住から地域振興へ」を目的に、総合窓口として新たに定住・地域政策課を配置し、「あやべ定住サポート総合窓口」を設け、空き家登録制度、空き家等の情報発信、定住相談、就職・就農相談などを行なっている。特に空き家対策においては、空き家提供者へ報奨金制度を設けたり、自治会と連携を図り、山村地域にある空き家も提供できるように体制をとるなど、地域と一体となり定住に向けた取り組みを行なっていた。本市でも地域や住民と連携し玉名市全体で定住化に向けた取り組みを行なうなどの活動が必要であると感じた。

有害鳥獣対策は「攻・守」が重要

4月24日から26日にかけて、建設経済委員会の行政視察を実施した。

岐阜県下呂市では、イノシシやシカなどの有害鳥獣被害に対して、侵入防止柵の設置等により農作物を守るほか、鳥獣被害対策実施隊(狩猟資格所持者)により積極的に捕獲を実施し、その被害額もかなり減少している。しかし、近年は既存の鳥獣に加え、ハクビシンやヌートリアなど外来種の被害も増えてきており、その対応にも苦慮されていた。本市でも近年は特にイノシシ被害が問題になっているが、電気柵の設置や捕獲をより積極的に行ない、被害防止に努めるべきと考える。

岐阜県大垣市では、中心市街地のにぎわい創出のため、中心市街地商店街の空き店舗対策や誘客イベント等を積極的に進めている。特に、駅前道路を歩行者天国にして、商店街組合が中心となって実施される「元氣はつらつ市」は毎回多くのお客さんが集まり、にぎわいを見せている。また、駅前に市営の分譲マンションを建設し、非常に人気だったという、市中心部の人口増につながっていた。本市も、さきに制定された商工業振興基本条例をもとに、今後どのような施策や取り組みが必要であるか、十分に議論、検討していく必要があると思われる。

「子どもの居場所づくり」感性を生かす保育
「協働のまちづくり」を見学

文教厚生委員会

4月24日から3日にかけて、埼玉県朝霞市、埼玉県桶川市、埼玉県上尾市に行政視察を行なった。

朝霞市では、障がいのある小学生から高校生が利用する「障害児放課後児童クラブ」を訪問した。障がいのある子どもを持つ家庭を支援する「子育て支援センター」との併設によって、成長の段階に応じた絶え間ない支援が可能となっており、卒業生を受け入れている「なかよしカフェ」もあわせて子どもたちの居場所、働く場や社会参加の場となっている。

いなほ保育園は桶川市にある無認可保育園。子どもたちは裸足で園庭を駆け回り、自然の中で生き生きと生活する園児たちを見学できた。みずからが考え直観・本能を磨き対応力を身につけていく「生きる根っこ」を育てる保育が実践されていた。

上尾市では、市民の社会貢献の自主的な活動支援の拠点施設となっている市民活動支援センターを見学した。支援センターでは会議室やパソコンの利用、会員拡大のためのマッチング等の支援が受けられる。また、活動に役立つ公開講座の開催や情報誌の発行等さまざまな支援事業が実践されていた。



▲いつも裸足で元気いっぱい(いなほ保育園)

大阪府箕面市議会改革の
取組について研修

議会運営委員会

議会運営委員会では、平成29年5月15日から16日の日程で大阪府箕面市に「箕面市議会における議会改革の取り組みについて」行政視察を行なった。

箕面市は、平成24年度から平成28年度までの期間に、議員定数を2人削減、議員報酬を6%減額、全議員が参加する「議会改革検討会議」の立ち上げ、通年議会の検討、議会改革フォーラムの開催、本会議・委員会のライブ中継、政務活動費の収支報告書等公開、地域意見交換会を市内3地域で開催、議会基本条例の制定作業開始等さまざまな議会改革を行なわれてきた。

大阪都市圏のベッドタウンとして発展し、人口も増えてきている市であるのに、このように多くの改革を計画性を持ってやってこられたのは、各議員自身が問題意識を持ち、共通認識の上で取り組まれたからであろう。社会情勢の変化、市民の意見等を勘案し、必要があると認めるときは改革をすべきである事を再認識した。今後本市も独自の課題を見据え、社会情勢を考慮した議会改革の取り組みを進めていきたいと感じたところである。

地震に備える公共施設の
あり方を再認識

公共施設等建設特別委員会

5月18日から19日にかけて、埼玉県鴻巣市、東京都江東区に行政視察を行なった。

鴻巣市では、文化プラザと陸上競技場を視察。文化プラザは、議会を初め多くの市民参加のもと計画され平成12年の完成まで18年を要し、隣接するせせらぎ公園と緑と文化の「一体化」をテーマに整備がなされ、鴻巣市民の音楽芸術の振興の場となっている。陸上競技場は、3種公認の400メートルトラック、天然芝のサッカー場を有しており、天然芝のメリックトや3種公認を継続するための課題等について質疑を行なった。また両施設の駐車場は、市役所や総合体育館等の公共施設との共同利用が図られていた。「そなエリア東京」は、東京都江東区有明にある防災体験学習施設。

平成7年の阪神・淡路大震災の発生を受け、情報網が寸断、行政機能が麻痺し甚大な被害をこうむったことから平成18年に防災拠点施設の建設に着手、平成22年に開園した東京臨海広域防災公園内にある平時時は防災体験学習施設として自治体や学校等多くの入館者を受け入れ、非常時は政府の緊急災害現地対策本部となる。

首都直下型地震を体験学習したこと、防災減災に備えることの重要性を再認識した。



▲防災体験学習(そなエリア東京)

議会だよりを
もっと市民の身近に

議会報編集特別委員会

玉名市議会報編集特別委員会の行政視察を4月19日から21日まで行ない、鳥取市議会・安来市議会(鳥根県)における議会だよりの編集方法と紙面の工夫等を研修した。「鳥取市では、議会だよりを市民の方に身近に感じていただくよう、表紙に掲載する絵や写真を募集、特に若年層にも関心をもってもらえるよう、市内の小中学校へ直接お願いしていた。」

「鳥取市議会だよりは質問と答弁の字の色を変えることで読みやすくしている。また、安来市議会だよりは一色刷りだが代表質問は縦書き、一般質問は横書きという工夫を凝らしている。」

「鳥取市では、議会だより編集委員会を議会報広報委員会に変更され、議会の情報公開など広報活動にも取り組まれていた。また安来市では、議会報についてだけでなく議会基本条例に対する取り組みも浮かぐえ、今後の参考となった。」

「玉名市の議会だよりも2市に負けないくらい素晴らしいことを再確認できた。」
右記「」内は、各委員の今回の研修の感想である。鳥取市でも安来市でも市民の方に議会だよりをより身近に感じていただくための工夫がなされていた。玉名市も今以上に市民の方の心を響かせる、わかりやすい議会だよりを目指す。

最先端の議会改革に、「新たな議会の姿」を学ぶ

議会基本条例検討特別委員会

5月23日、北海道帯広市議会を視察。視察事項は「議会基本条例と議会改革の取り組み」について。帯広市議会は委員会中心主義に基づき、委員会活動の充実した運営を実施。常任委員会は重点調査項目を設け継続的に所管事務調査を行なうほか、調査研究項目を設け政策提案の取り組みを行なっている。また、全議員により構成される「議員政策研究会」を設置。政策提言活動を専門に行なうべく、その充実強化を図っている。本市議会が今後目指す議員間討議による政策形成・提案・立案の要領、政策研究専門の会議体の運営のあり方について視察研修した。

5月24日、北海道芽室町議会を視察。視察事項は同右。芽室町議会は早稲田大学マニフェスト研究会が毎年実施している『議会改革度調査』で3年連続で全国ランキング1位となっ

た先進議会。「改革のデパート」と称され、次々と新機軸の政策を打ち出し、議会改革において今最も注目されている議会である。

芽室町議会においては多岐にわたる取り組みについて視察研修を実施。その内容は、①議会活性化計画、②議員研修計画、③大学との包括的連携協定事業計画、④議会モニター制度、⑤アドバイザーとしての議会サポーター制度、⑥議会改革諮問会議、⑦議会基本条例、⑧政策形成サイクル導入、⑨通年議会、⑩議会ICT(情報通信技術)推進計画、⑪災害時対応計画。

北海道は平成18年に全国で初めて議会基本条例を制定した栗山町の影響もあって、議会改革が進んだ先進地域。改革によって新たな可能性を模索し、既存の枠に捉われない柔軟な思考が善政競争時代における「新たな議会の姿」を創造していた。

全国市議会議長会から表彰

全国市議会議長会総会において、議員30年以上の永年勤続表彰として吉田喜徳議員、竹下幸治議員に、議員15年以上の永年勤続表彰として田中英雄議員に表彰状が贈呈されました。6月定例会(6月30日)に、議場で伝達を行ないました。

9月定例会予定

25日	19日	15日	14日	12日	11日	8日	7日	6日	9月	28日	8月
月曜	火曜	金曜	木曜	火曜	月曜	金曜	木曜	水曜	5日	月曜	21日
採決 定例会閉会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	文教厚生委員会	建設経済委員会	総務委員会	一般質問	一般質問	一般質問	定例会開会	議会運営委員会

※都合により変更になることがあります。

今回は各地区の校区会長として地域のために貢献されている4名の方に「地区区長会長に聞く!」というテーマで「玉名市、玉名市議会に望むこと」「区長としての心構えや想い」等のお声をいただきました。お忙しい中に、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。

誇れるふるさとづくり



玉名自治区 廣田 幹人

私は八嘉の区長会長の廣田です。八嘉校区では、子どもたちが誇れる明るくきれいな街づくりを目指しています。今から20年前、玉名市の玄関口八嘉の国道208号線沿線では、セイタカアワダチ

ソウが生い茂りその中にゴミがいっぱい捨ててありました。八嘉生活改善グループの数人の人が立ち上がり草を刈り花壇をつくり頑張っていました。平成14年から玉名市の一区一輝運動で八嘉全体で花いっぱい運動に取り組んでいます。八嘉小の子どもたちは、総合学習で種をまき苗を育て道路横の花壇に花を植えドライバーの人たちを和ませています。玉名市、玉名市議会にお願いします。子どもたちが誇れるふるさとづくりと一緒にやっていきたいと思っています。

「すみよい国、地域」の構築を



横島自治区 米村 博之

地域に生まれ、育ち、働き、無事定年退職を迎え、次は地域へ恩返ししたい気持ちで区長職に就任した。団塊の世代の身、高度成長、企業戦士、バブル等々、良しも悪しきも変わった。革の時代を生きてきた。時代は高速で変遷し「右肩下がり」の時を迎え老婆心ながら子や孫たちの行く末に不安を抱く。日本は確かに物質的には豊かになったが人としては果たしてどうだろうか。「住みよい国、世界一、ブータン」と耳にし、リーダーに望むことは、先見の明を持つてリーダーシップを発揮し、真に「住みよい国、地域」の構築を目指してほしいということである。

地区区長会長に聞く!

議会に物申す



岱明自治区 浦野 勝男

先頃、市民会館建て替えの件です。基本設計には賛成して、税金を投入していながら、本工事見なおしと言って反対される議員の信条信念のなさにあきれています。再

議にかけなければならなくなった事は、玉名の恥です。又岱明町公民館の建て替えでも岱明町区長会でお願ひして、計画をたて提案されましたが狭い使い勝手が悪いとかで元の所に建て替えありきで反対されて未だに方向性が見えず少し歩みよりなんとか計画を進めてほしいです。使用する人達の事ばかり考えずに議員は町のあり様と区長会がお願いしている事も忘れずに頑張つてほしい。

よりよい地域づくり



天水自治区 立川 隆則

まず始めに、昨年発生しました熊本地震において貴重な体験をしました。あの時ほど、隣近所での声の掛け合いと助け合いの大切さを感じたことはありませんでした。地域には様々な課題が山積しております。これらの課題を皆様と共有し合い、よい地域づくりを進めていきたいと思ひます。そして、議会、行政、住民が協力し合えた、さらなる地域づくりを進められると思ひますので、今後ともよろしくお願ひします。

編集後記

我々の任期も残りわずかとなり、今議会では激論の末に議員定数を2削減し22議席とする条例案が可決された。

玉名市議会ではインターネット中継や「議会だより」などで情報公開に努力してきた。この「議会だより」では議員一人一人の考え方、議会での表決などがわかる。あつという間の4年間だったが、未来に向けて政治の責任は重い。全国的に見ても情報公開の進んだ玉名市議会であると思うので今後も、ますます情報発信をしていきたいと思う。

議会報編集特別委員会

委員 田中 英雄

☆表紙の題字

「市議会だより」は、



玉水小学校 6年
みやざきしょうた
宮崎翔太さんの作品です。

☆ホームページのアクセスは、検索画面で

玉名市議会

検索

を入力してクリック!